

科目名/提供大学名	地域特講E(手話講座)／福井県立大学
科目名(英文)	Special Lectures about Regional Study E
対象学年	1・2・3
開講時期	前期／後期
単位数	2
科目区分	一般 選択
授業形態・開講形態	講義
担当教員名	石井 容子、杉浦 公美、藤井 真津美
オフィスアワー	授業の終了後に対応する。
教員メールアドレス	—
概要	厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の入門課程及び基礎課程の履修。 聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度等についての理解と認識を深めるとともに、手話で日常会話を行うに必要な手話語彙及び手話表現を習得する。
授業目標・目的	① 簡単な日常会話を行うに必要な手話語彙(入門課程300語、基礎課程300語)を習得する ② 手話で日常会話を行う手話表現技術を習得する ③ 手話でコミュニケーションする楽しさを習得する ④ 手話の基本文法を習得する
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input type="checkbox"/> 他者の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	
授業計画・授業内容	手話実技 第1回 実技: イメージトレーニング 第2回 実技: 自己紹介(名前) 第3回 実技: 自己紹介(家族) 第4回 実技: 自己紹介(数字) 第5回 実技: 自己紹介(趣味) 第6回 実技: 自己紹介(仕事) 第7回 実技: 自己紹介(住所) 第8回 実技: 自己紹介(まとめ) 第9回 実技: 対話の基礎練習(一日) 第10回実技: 対話の基礎練習(一ヶ月) 第11回実技: 対話の基礎練習(一年) 第12回実技: 対話の基礎練習(旅行) 第13回実技: 対話の基礎練習(病院) 第14回実技: 総合(まとめ) 第15回試験: (筆記試験・手話実技試験)
授業方法	
キーワード	・手話は言語 ・手話を見ることば(視覚言語)
教科書	自作資料コピー
参考書	「わたしたちの手話学習辞典Ⅰ」「わたしたちの手話学習辞典Ⅱ」 発行: 一般財団法人 全日本ろうあ連盟
評価方法・評価基準	筆記試験(講義より出題)及び実技試験(手話の読み取り) 筆記・実技とも60点(100点満点)以上
関連科目	特になし
履修の要件	
必要な事前・事後学習	
その他・注意事項	